

61 マツシマコメツブガイ

(ヘコミツラガイ科)

兵庫県ランク:B

Retusa matusimana

環境省ランク:指定なし

種の概要

三陸・佐渡島から九州に分布し、内湾の潮間帯下部から浅海帯の泥底に生息する。殻長3mm程度の円筒形で、コメツブガイと近似するが、殻はより太短く螺塔が低い。殻は白色であるが、生時は薄い黄褐色の殻皮で覆われている。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

県内分布

加古川市、赤穂市、洲本市、南あわじ市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。淡路島では中部の内湾で死貝が得られていたが、近年、南部の1河川の汽水域の軟泥底から生貝が確認された。同所ではエドガワミズゴマツボやヤマトシジミ(いずれも貝類Cランク)などとともに生息している。加古川や千種川ではコヤスツラガイ(貝類Bランク)とほぼ同環境下に生息する。

保護上の留意点

比較的大きな河川において、干潮時に河口汽水域の下流部に存在する泥底の浅い溜まりやワンドの保全を行い、横断面の広い潮間帯を消失させないこと。



写真提供：松村勲



写真提供：松村勲

【執筆者】 川淵千尋